

# METIA

## 性格ペルソナガイド

### Aという性格



#### 【評価できる面】

1. 行動力
2. 機敏さ
3. 世話好き
4. 同情家
5. 活動的
6. 社交性
7. 快活さ

#### 【注意する面】

1. 不注意
2. 気分屋
3. 冗談好き
4. 大まか
5. 無節度
6. 憂うつ
7. 粘りがない

#### Aの活性化

快活で行動力のあるところがこのタイプの特長ですが、大雑把な点が失敗を多くさせています。軽率さに注意して、小まめにメモを取り、計画はもう一步突っ込んで細部まで慎重に検討しましょう。身軽さと人の良さが身上ですから、大事な友人たちとの輪を広げてネットワークを上手に、有効に使うとこれまで以上の成果が得られます。一緒にいると楽しく、集団が明るくなる人間的な温かみがあるので、その長所を生かして積極的に事に当たってください。どしどし企画書やアイデアを出していけば、行動力もあるので、みんなから頼りにされます。

#### 他の性格との相乗効果（次の性格説明、Pの良さを取り入れる）

多少、あわてん坊な点が気になりますが、活発でみんなから愛される人柄が長所です。進んで具体的なアイデアを出していき、次々と提案できるので、この対人関係形成のうまささをさらに生かしてください。そしてPの几帳面さを少し取り入れれば、荒さのある計画が慎重性を増し、説得力をもちます。コツコツとやりぬく忍耐は苦しいですが、もう少し長続きするようになり努力家と言われるようになれば、周囲からの評価は一段と向上します。もともと熱中型ですが、冷めやすいのが欠点でした。その熱意を持続させることが今後の課題です。

## Pという性格



### 【評価できる面】

1. 几帳面
2. まじめ
3. 努力家
4. 長続き
5. 粘り強い
6. 模範的
7. 徹底的

### 【注意する面】

1. 言動が荒くなる
2. 硬直発想
3. ガンコ
4. 非融通性
5. お堅い
6. 先例主義
7. 堅苦しさ

### Pの活性化

社会性をもち真面目な性格ですから、組織にあっては有用な人材です。しかし常識に明るいために世間を気にしたり、熱中したときには視野が狭くなったりして、新しいことを取り入れるのが遅くなることがあります。それでも忍耐強く目標をあきらめずに追う一途さから、最後には目標を達成します。しかし、粘り強さが執念深さにならないように戒め、また忠告には耳を傾け、もっとゆったりとした態度になれば支援が得られ、さらに大きな目標が達成できます。そして、意思の伝達には具体的で直接的な表現をするように心がけましょう。

### 他の性格との相乗効果（SとAの良さを取り入れる）

努力の人であり、コツコツと粘り強く何事にも立ち向かっていく人ですから、そのままでも社会的成功は得られます。さらに可能性の輪を大きくし、自己活性化をめざすのならば、Sの客観性を取り入れ、熱中=没頭ではなく、集中に向けることです。そしてAの明るさや柔軟さを自身に受け入れることができれば窮屈さや堅苦しさが消え、またガンコなイメージもなくなり、周囲からは歓迎されるでしょう。これからは、何かに熱中していても自分と周囲を客観的に眺められる複眼の発想をもち、周りとの調和をはかれば素晴らしく伸びる人材です。

## Sという性格



### 【評価できる面】

1. 思考力
2. 冷静さ
3. 鋭い感性
4. 本質を見抜く
5. 空想的
6. 芸術性
7. 客観性

### 【注意する面】

1. 孤独性
2. 無関心
3. 疎遠さ
4. 非社交性
5. 利己的
6. 存在感の薄さ
7. 不精

### Sの活性化

外界に対する関心のなさが報告・連絡・相談を少なくさせ、コミュニケーションを少なくさせていますが、本人にはそれほど他意はありません。仕事として「ホウレンソウ」を課せられれば、できなくはありません。また冷静さや客観的な判断力をもつ長所を生かして中長期的な将来構想をまとめたり、分析や開発に関する業務を任せられると本来の才能が発揮され、生き生きと働くことができます。雑多な仕事で引っ張りまわされず、定期的なコミュニケーションさえとることができれば組織ではユニークな人材として貢献します。

### 他の性格との相乗効果（最初の性格説明、Aの良さを取り入れる）

内閉性が特徴ですが、そのため活動力が低いのが大きな欠点となっています。そこで、これは仕事だと割り切って職場ではできるだけ明るく陽気にふるまい、行動的な自分を出してみることです。冷静な判断力に身軽な行動力が加われば、これまでにない新しい可能性をもたらします。周囲の人々は、そうしたあなたの変化を歓迎し、集団への効果も大きくなります。本来の自分なら最も苦手とするところですが、意識的に行動力と明るさを身につけるだけで、見違えるほどの自己活性化が行われます。

## H という性格



- | 【評価できる面】  | 【注意する面】 |
|-----------|---------|
| 1. 積極的    | 1. 甘えん坊 |
| 2. 表現力    | 2. 他責的  |
| 3. 主役的    | 3. わがまま |
| 4. 人気者    | 4. 無反省  |
| 5. プライド   | 5. 依存性  |
| 6. 主張する   | 6. 責任転嫁 |
| 7. 目立ちたがり | 7. 移り気  |

### Hの活性化

明るい性格で交友関係も広いのが特長です。神経が細やかで鋭い感性をもち、相手を丁寧に扱うことができます。そのため年長者や組織の有力者にもかわいがられ、トントン拍子に出世したり大きな仕事をまとめたりする才能に恵まれています。ただ、もう少し我慢強さをもつとさらにチャンスが膨らみます。カッとなって何もかも放り出す短気さで損をすることがあるので、腹が立つときは今一度、自分を抑えて自重すると仲間はさらに増えて、理解者を得られるでしょう。勤が良いので仕事の仕切りはうまく、人気もあるのでグループの牽引や意見の集約などで活躍できます。刹那的な行動をとらず、長期的視野がもてるようになると大成します。

### 他の性格との相乗効果（2番目の性格説明、Pの良さを取り入れる）

自己顕示欲の強いHは、地味ですがコツコツと仕事をするような相手と波長が合います。このタイプの人とペアを組むことも良いですが、自己活性化のためには粘着質のPの性格特性を取り入れましょう。社会規範を大事にして規律正しくキチンとした生活を送っている努力型のタイプPは、性格改造に打ってつけです。几帳面な性格、努力を信条とする態度は最も苦手とするところでしょうが、意識的に社会規範や忍耐強さを身につけるだけで、周囲もびっくりするような活性化が行われます。社会的「成人」の良さが備わると鬼に金棒となります。

## N という性格



- | 【評価できる面】   | 【注意する面】  |
|------------|----------|
| 1. 注意深さ    | 1. 劣等感   |
| 2. 慎重さ     | 2. 自信喪失  |
| 3. 見通しをつける | 3. 強迫感   |
| 4. 遠慮深さ    | 4. 作業不全  |
| 5. 自責感     | 5. 焦慮感   |
| 6. 物静か     | 6. 愚痴っぽさ |
| 7. 細心さ     | 7. 不安傾向  |

### Nの活性化

慎重なタイプです。控えめで静か、おとなしい印象をもたれています。もう少し活動的、積極的になろうと自らを奮い立たせて努力してみますが、どうも長続きしないようです。しかし可能性はあります。まず慎重さを生かせば、細かい作業や観察などの仕事に適します。さらに意識を集中力に転化できるようになり、あきらめやすい点を家族や友人たちの協力でバックアップされれば質的に高い仕事もこなせます。才能面での不安感が仕事に影響するので、まずは資格をとって一つずつ自信をつけていくのが先決です。比較対象のレベルが高すぎるため、世間一般の人々は「みな同じようなもの」との自己暗示も効果的です。

### 他の性格との相乗効果（他の性格の良さを取り入れる前に自信を）

一つずつ目の前の目標の達成していき、自信を積み重ねていくことが大切です。まず小さな成功体験をもち、少しずつ目標を高くしていくと無理がなく、抱えきれなくなって放り出すという悪癖も解消されます。他の性格特性を身につける社会的人格の改造はそれからで、まずは「一般の人と同じように仕事ができる」との確信を重ねていき、その後、Pの努力型やAの活動性、Sの客観性などを取り入れれば素晴らしい人材に生まれかわります。しばらくは焦らず、少しずつ自信を取り戻しましょう。

## M という性格



- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| <b>【評価できる面】</b> | <b>【注意する面】</b> |
| 1. 多様性          | 1. 本音が見えない     |
| 2. 誰とでも         | 2. 八方美人        |
| 3. 対応力          | 3. 没個性         |
| 4. 成熟           | 4. 主張がない       |
| 5. 寛容           | 5. 曖昧          |
| 6. 将来性          | 6. 揺れ          |
| 7. 柔軟           | 7. 軽い存在感       |

### Mの活性化

気持ちが若いタイプです。コレという基本性格の型にはまらず、マルチな考え方ができ、その時々で行動や発言を相手に合わせられます。周囲のどんなタイプとも対応可能なので、いろいろな人々に適応することができ、誰とでも付き合える便利な性格です。指導の仕方でも成長できる可能性があります。伸び代の大きさでは期待できますが、あまり強い個性をもたないので、主張はそれほどしないタイプです。柔軟性があり、多様性があるため、相手次第で対応できます。対人的な業務が得意なこともあり、今後大きく成長することも。

### 他の性格との相乗効果（発展途上人）

まだどんな性格なのか確定しておらず、成長途中にあります。ですから、その時々で行動や発言が変わり、状況次第な生き方に見えます。自己がまだできていないので、何がしたいとか、どう暮らしたいという方向が定まっていません。性格が曖昧で意欲や価値観も不定形、いわば揺らぎがあり、ピーターパンシンドロームなのか、モラトリアム型人間なのか、社会への無感覚なのかははっきりしません。そうなった理由は家庭なのか自分自身にあるのか、少し考えてみましょう。今後、どのような変貌を遂げていくか楽しみです。少しずつトライしてみましょう。

## DOSEFUテスト解説

シュランガー<sup>\*1</sup>の提唱した理論、審美、経済、宗教、権力、社会的の6価値観を基本として、日本人の意識に適合するように改善した研究者が榎田仁・慶應義塾大学名誉教授<sup>\*2</sup>です。榎田氏が教えた慶應大学の産業研究所の人材教育コースに、文章完成法テスト(SCT)<sup>\*3</sup>があります。これは文頭に設定された単語や未完成な文の片言隻語を基にして、文を完成させていく作業式の性格検査で、被験者が書いた日本語を使用した単語の意味や構成で分析するものです。今回は心理刺激にTAT 絵画<sup>\*4</sup>を使って、そこから連想できるストーリーを人工知能で解読しました。

意識や無意識から紡がれた大量の文章を主成分分析にかけると、数十個の成分がえられ、自然言語の日本語や英語が意味の通るように読み取れて、解釈できます。そのとき同時に、回答した記述者が用いた単語のつながりの中に、榎田氏の指摘する性格や価値観・行動(DOSEFU)などの特徴がどのくらい含まれているかを数量化しました。

本来 DOSEFU とは、人々と協調していこうとすることへの価値を重要視する生活協調型(D)、科学的な会話が好きな客観型(O)、経済のことに関心の高い経済社会型(S)、人に優しく親切で、弱者を保護したり愛情を注いだりすることに生きる保母さんのような情緒型(E)、芸術が得意な審美型(F)、奇抜なアイデアや突拍子のない発想をするユニーク型(U)に分類されますが、平成以降の日本人の社会心理学的分析から、榎田氏の解説に従って今回はDOSEFの5価値観をメインとしました。

分析は、これらのうち上位2価値観をもって、回答者の意識や行動がどのように構成されているかを判定します。たとえばDOは生活観がありつつ客観的な見方をする人で、DSは生活観と経済的な見方が強い傾向の人といったように解説しています。DEは生活観と情緒性、DFは生活観と芸術性、OSは客観性と社会性、OEは客観性と情緒性、OFは客観性と芸術性というように、全部で10通りのタイプができました。

今回のテストはこの分析に、アメリカの心理学者マズロー(1908～1970)の欲求階層説を組み合わせています。生きることの意味や関心が「生存」にある基礎的な水準にある人々。次いで「安全」に向かった生き方をしている人々。さらに上位とされる「所属」の欲求、その上に来るとされる「承認」欲求に生きる人々といった解釈です。マズローの欲求階層で最上位とされる欲求は「自己実現」とされています。

\*1. エドゥアルト・シュランガー (Eduard Spranger, 1882 - 1963) は、ドイツの教育学者、哲学者、心理学者。

\*2. 榎田 仁 (まきた ひとし, 1926 - 2010) は、心理学者、筆跡学者、慶應義塾大学名誉教授。

\*3. 文頭に設定された単語や未完成な文の片言隻語をもとにして、文を完成させていく作業式の性格検査。

慶應義塾大学名誉教授・佐野勝男(1923-2014)によって開発された。佐野氏は退任後慶大常任理事を務められ、専門は社会心理学、人格心理学。

\*4. 被験者に提示して、自由な連想から物語を作らせるための絵画

## **お問合せ先**

info@tekisei-kensa.jp

## **運営会社**

株式会社ブレインアカデミー

〒107-0061 東京都港区北青山 1-3-2 クローバー青山・ONE 7F

TEL : 03-6455-5320 FAX : 03-6455-5321

Mail : shigaku-jinjibu@brainacademy.co.jp